

線材加工機と関連製品

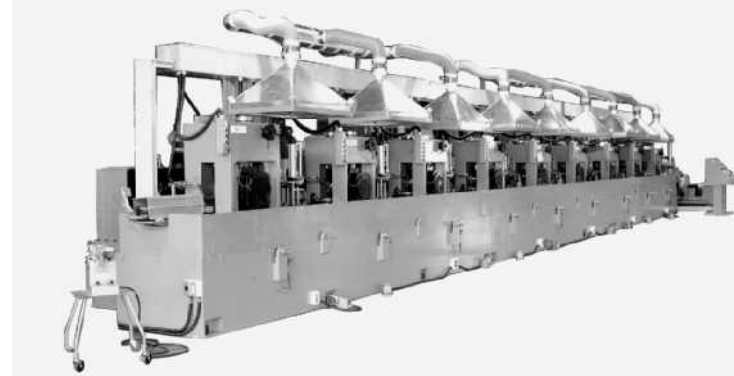
PR

自動車部品や建築資材、機械要素部品などに使われる線材製品。これらの製品は加工機によって塑性加工を施され生み出される。加工機には圧延ロール機や伸線機、ワイヤフォーミングマシン、巻き取り機などがあり、用途や工程に応じて活躍する。

素材となる線材市場では線材メーカーが棒鋼・線材の値上げを発表した。2026年4月にトン当たり1万円引き上げたが、中東情勢によるコスト上昇を背景に、さらに7月から同5000円の価格改定に踏み切った。メーカー各社は今後の各種コストの動向次第でさらなる値上げも検討する方針だ。

線材の値上げが進む一方で、加工機の値上げは厳しい状況にある。海外製の廉価な加工機が市場に流通している影響もあり、価格転嫁は容易ではない。ある加工機メーカーは圧延機や伸線機、巻き取り機などの各種加工機を設計・製造している。ユーザーは自動車部品や医療用のワイヤメーカーがほとんどで、厳しい品質基準をクリアするため加工精

度や品質を維持する技術力が求められる。このため加工機の仕様は複雑化し、品質は年々上がっているものの、販売価格は据え置きとなっているのが現状だ。そのため、高い加工対象物（ワーク）の精度やユーザーの要望に応える細やかな技術力で付加価値を高め、



海外企業との差別化を図る。同社が対応するワイヤは線径が約50μmから15mmまでが主流で、多種多様な線材製品の中でもニッチ市場向けのものである。ワークの材質や線径、幅などに合わせて圧延ロールの材質や大きさを工夫し、オーダーのラインに幅広く機能を持たせることができた。加工する。また、圧延工程の制御管理ソフトも内製。加工条件を管理できるためユーザーの研究を力強くサポートする。真摯なモノづくりでユーザーの期待に応える同社は、製品の修理や新規導入など幅広いサービスが多い。メーカーの研究段階の素設計責任者は「手抜きして（よい製品づくりが）できるものではない」と話す。加工機メーカーの高い技術力が製造業の安定した品質を支えている。

有力企業の製品・技術

アサヒ精機鉄工

アサヒ精機鉄工は1971年創業の線材加工機メーカー。約半世紀の歴史で培った技術を生かし高精度、高速加工、高い直線度を誇る線材加工機を開発している。

線材用冷間圧延ロール機や各種伸線機の設計・製作に加え、既存の圧延機、伸線機の性能を大幅にアップさせる改造も行っている。高精度を実現する測定制御機器も充実。

「アサヒミルコントローラーAMCシリーズ」は製造線材の幅、厚みを正確に管理・制御し、高速圧延工程の連続管理を可能にする。

機械 2D・3D 設計者募集中

アサヒ精機鉄工の圧延機

線材用圧延機のトップブランド

4タンデム圧延ロール機

速度 200m/分
振れ精度 厚み±0.005 幅±0.05
蛇行1mで5mm以内
加工寸法 10mm幅×0.2mm厚

5タンデム異形線圧延機

速度 100m/分
振れ精度 ±1ミクロン以下
加工寸法 0.1mm角×0.3mm角

製造品目 冷間圧延ロール機・各種伸線機・各種産業機械・設計製作

ASAHI アサヒ精機鉄工株式会社

第一工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納4-13-9 電話 072-968-0101 FAX 072-968-0102

第二工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納6-7-47 電話 072-889-1501 FAX 072-889-1502

ホームページ <http://www.astkk.co.jp> メールアドレス office@astkk.co.jp